



つばさ

多摩市立聖ヶ丘小学校
特別支援教室 つばさ
令和7年 7月 18日
つばさだより 第5号

いろんな変化と成長の前期・ここまで

強くなる日差し、入道雲、スコール・・・今年も猛暑の夏がやってきています。夏休みが近くなり、子供たちの気持ちからもなんだかウキウキ、ワクワクしているのを感じます。7月までの長い前期。4月から進級や行事、学校生活等々たくさんの変化と成長がありました。つばさ教室ではそうした変化や成長を言葉にして振り返り、整理しています。そうした中では、小集団指導の際にグループの仲間同士でお互いの変化を伝え合うこともあります。「人の話を聞いてくれるようになった。」「やさしく励ましてくれることがあった。」「みんなの前で発表できることが増えた。」それぞれが自分や友達の変化や成長に自発的に気が付く。そんな場面もあった夏休み直前のつばさ教室でした。

「夏休み」楽しみと憂いと・・・でも大丈夫！

約1か月少しの長い休みが始まります。子供たちは「たのしみ！」と期待を膨らませているようです。ただ、その一方で、現実的な問題としての憂いを感じる点（大人も子供も）もあると思います。大きく分けると2点。1点目は「宿題」です。「まあ大丈夫と思う」と前向きに捉えている子もいますが、「宿題」に不安を抱えている子もいると思います。予定を立ててみたものの、予定通りにいかないこと。宿題の内容や、量の見通しをもつことが苦手なことなどもあるかもしれませんね。つばさ教室からは「なるべく柔軟に対応できればいい」「100点満点でなくていい。」そんなスタンスで必要に応じてお子様への「支援」をお願いしたいと思います。「支援」の形は子供によって異なると思いますが、「宿題」に必要以上に重きを置かず気軽に向き合っていっていただければと思います。（そうはいても）何か不安や心配なときはつばさ教室までご相談ください。

2点目は「夏休みの生活リズムと休み明けの切り替え」です。これは大人も同様の心配や不安があると思います。これに対してもケースバイケースではありますが、可能な範囲で柔軟に支援したり必要に応じて子供たちの気持ちを受け止めてあげたりして対応していければいいかなと考えます。もし、夏休み終盤にお子様の中で不安や心配の気持ちが強いときは大人に「相談」していいし、「つばさで相談すればなんとかかなるよ。」こんなふうに伝えてください。

ともあれ、夏休みです！。ゆったり休んでたくさん楽しい思い出を作って、またみんなで共有していくそんなことも楽しみに、モチベーションを上げていきたいですね。安全、健康に気を付けて楽しい夏休みをお過ごしください。

夏のつばさ文庫・絵本紹介

作 藤原一枝・はたこうしろう

「まほうの夏」

絵 はたこうしろう

都会で暮らす兄弟の夏休み。「あ～あ、なんか楽しいことはないかなあ。」お母さんの田舎へ遊びにいけることとなった兄弟。虫取り、夕立、海水浴、釣り。どれもこれも素敵な思い出に。ひと夏の魔法のような体験を楽しめる本です。

